

エホバは快く寛大に許してくださる

「エホバ、あなたは善い方で、快く許してください。あなたに呼び掛ける人全てに、揺るぎない愛を豊かに示してください」。 [詩編 86:5](#)

[42 番の歌](#) 私たちの祈願

何を学ぶか*エホバは聖書の中で、罪を犯しても悔い改める人を喜んで許すと約束しています。でも私たちは、自分にはエホバに許していただく資格がない、と感じることがあるかもしれません。では、罪を犯しても心から悔い改めるなら、エホバがいつも快く許してくださる、と確信できるのはなぜでしょうか。この記事ではその点を考えます。

1. [伝道の書 7 章 20 節](#)で、ソロモン王はどんなことを教えてください。

ソロモン王はこう述べています。「常に善を行って罪を犯さない正しい人は、地上に一人もいない」。(←[伝 7:20](#)) 確かにその通りです。私たちは皆、罪を犯します。(ヨハ一 1:8「自分には罪がない」と言うなら、私たちは自分を欺いているのであり、心の中に真理がありません) ですから誰もが、神からも人からも許してもらう必要があります。

2. 親しい友達が快く許してくれたら、どんな気持ちになりますか。

2 あなたは親しい友達が怒らせてしまったことがありますか。その人と仲直りしたいと思って、心から謝ったことでしょうか。その人が快く許してくれた時には、ほっとしてうれしくなったに違いありません。

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 私たちは、エホバを一番の友達にしたいと思っています。それでも時には、エホバを悲しませるようなことを言ったりしたりしてしまうことがあります。では、エホバは喜んで許してくださる、と言えるのはなぜでしょうか。許す面でエホバは人間とどのように違いますか。エホバが許してくださるのはどんな人でしょうか。

エホバは快く許してくださる

4. エホバは快く許してくださる、と言えるのはなぜですか。

4 聖書には、エホバは快く許してくださる方である、と述べられています。エホバはシナイ山でモーセに対してご自分を示し、天使を通してこう言いました。「エホバ、エホバ、憐れみ深く、思いやりがある神、すぐに怒らず、揺るぎない愛に満ち、常に信頼できる。揺るぎない愛を幾千代までも示し、過ちと違反と罪を許す」。(←[出 34:6](#) エホバ、エホバ、憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある神、すぐに怒らず、揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ち、常に信頼できる(*真実を語る)、[7](#)) エホバは、温か

く憐れみ深い神で、罪を悔い改める人をいつも快く許して下さいます。(ネへ 9:17 聞こうとせず、彼らのただ中であなたが行われた異例なことを忘れ、頑固になり、指導者を立ててエジプトでの奴隷状態に戻ろうとしました。それでも、あなたは快く許す神で、思いやり(*慈しみ)と憐れみがあり、すぐに怒らず、揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ちておられ、彼らを見捨てませんでした。詩 86:15 エホバ、あなたは憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある神です。すぐに怒らず、揺るぎない愛に満ち、常に信頼でき(*真実を語り)ます)



過去にどんな経験をしたので今の私たちがあるのかをエホバはよく知っている。(5節を参照。)

I. エホバの許しについて 詩編 103:13, 14 からどんなことを学びましたか

5. 詩編 103 編 13, 14 節からすると、エホバは私たち人間のことをよく知っているので、どんなことをして下さいますか。

5 エホバは人間を造った方なので、私たちのことを全て知っています。地上にいる一人一人のどんなこともご存じなのです。(詩 139:15-17 人知れず私が造られた時、大地の深い所で織り上げられた(*胎内で成長した)時、私の骨はあなたから隠されませんでした。16 あなたの目は胎児の私を見ました。私のあらゆる部分があなたの書に書かれました。それらが形作られる日々のことが、まだどの部分もできていない時に書かれました。17 神よ、あなたの考えは何と貴いのでしょうか。何と膨大なのでしょう) 例えばエホバは、誰もが親から不完全さを受け継いでいるということを知っていますし、過去にどんな経験をしたので今のその人があるのかということもよく知っています。こうしたことをよくご存じなので、私たちに憐れみを示して下さるのです。(詩 78:39 神は思い出した。彼らが人であることを、吹くと戻ってこない風である(if*生命力は出ていくと戻ってこない)ことを。詩編 103:13, 14 父が子を憐れむように、エホバはご自分を畏れる人たちを憐れんだ。14 神は私たちの造りをよく知っている。私たちが土でできているにすぎないことを覚えているを読む。)

6. エホバが快く許したいと思っていることは、どんなことから明らかですか。

6 エホバが快く許したいと思っていることは明らかです。エホバは、最初の人間アダムのせいで私たちが皆、罪を犯し、死を経験するということを理解しています。(ロマ 5:12 このような訳で、1 人の人によって人類に罪(*)が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がったように—) 自分や他の人を罪や死から救い出すことは誰にもできません。(詩 49:7-9 誰一人として兄弟を買い戻すことはできない。彼のための贖い(*)を神に差し出すことはできない。8 (人の命を買い戻す(*命のための贖い)の代価は非常に高く、とても支払えない。) 9 彼を永遠に生き続けさせようとしても。墓穴を

見ないようにさせようとしても) それでも、愛情深いエホバは思いやりを示し、私たちを救うために手を打ってくださいました。ヨハネ 3 章 16 節神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そうにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしましたにある通り、独り子イエスを遣わし、私たちのために死ぬようにしたのです。(マタ 20:28 人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました。ロマ 5:19 人の人の不従順によって多くの人が罪人になったように、1 人の人の従順によって多くの人が正しい人になるのです) イエスは私たちの代わりに死ぬことによって、イエスに信仰を抱く人が救われるようにしました。(ヘブ 2:9 ただ私たちは、天使たちより少し劣る者とされたイエスが、苦しんで死んだゆえに栄光と栄誉の冠を与えられたのを見えています。神の惜しめない(*過分の)親切により、イエスは全ての人のために死を味わったのです) エホバにとって、愛する独り子がひどく苦しみながら屈辱的な死を経験するのを見るのは本当につらいことだったに違いありません。私たちのことを許したいと思っていなければ、イエスが死ぬままにはしなかったことでしょう。

7. 聖書には、エホバから寛大に許してもらった人のどんな例が載せられていますか。

7 聖書には、エホバから寛大に許してもらった人たちの例が幾つも収められています。(エフエ 4:32) 誰のことが思い浮かびますか。マナセ王かもしれません。この邪悪な王は、エホバに対してひどい罪を幾つも犯しました。間違った崇拜を先頭に立って行い、それを広めました。自分の子供たちを殺し、偽の神々に犠牲として捧げることもしました。さらに、エホバの聖なる神殿の中に偶像を置くことさえしました。聖書は、マナセが「エホバから見て悪いことを大規模に行って、神を怒らせた」と述べています。(代二 33:2-7 マナセはエホバから見て悪いことを行い、イスラエルの民の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねた。3 父ヒゼキヤが取り壊した高い場所を再び築き、バアルのために祭壇を設け、聖木を作った。また、天の全ての星(d*天の全軍)を崇拜してひれ伏した。4 エホバがかつて「私の名は永遠にエルサレムにある」と言ったそのエホバの家の中にも祭壇を作った。5 エホバの家の 2 つの庭に、天の全ての星(d*天の全軍)のために祭壇を作った。6 ヒンノムの子の谷で自分の子たちを火で焼き(d*に火の中を通らせ)、魔術を行い、占いをし、呪術を行い、霊媒師や占い師を任命した。エホバから見て悪いことを大規模に行って、神を怒らせた。7 マナセは彫刻像を作り、真の神の家の中に置いた。かつて神はその家について、ダビデとその子ソロモンにこう言っていた。「私は、イスラエルの全部族の領地から選んだエルサレムとこの家に、私の名をいつまでも付す) しかし、マナセが心から悔い改めた時、エホバはマナセのことを寛大に許しました。そして、王位に復帰させることさえしました。(代二 33:12, 13 マナセは苦難の中、エホバ神に恵みを求め、父祖たちの神の前でとても謙遜になった。13 彼が神に祈り続けたので、神はその懇願に心を動かされ、恵みを求める願いを聞き、彼をエルサレムでの王位に復帰させた。こうしてマナセはエホバこそ真の神であると悟った) ダビデ王のことも思い浮かぶかもしれません。ダビデはエホバに対して、姦淫や殺人といった重大な罪を犯しました。それでも、自分の罪を認めて心から悔い改めた時、エホバはダビデのことも許しました。(サム二 12:9, 10 どうして私エホバにとって悪いことを行って、私の言葉を軽く見たのか。あなたはヘト人ウリヤを剣で討った! 彼をアンモン人の剣で殺してから、彼の妻を自分の妻にした。10 今後、あなたの家族は常に剣に悩まされる。あなたがヘト人ウリヤの妻を自分の妻にし、私を侮ったからだ、13, 14 ダビデはナタンに言った。「私はエホバに対して罪を犯しました」。ナタンはダビデに言った。「エホバはあなたの罪をお許しになります。あなたは死ぬことはありません。14 しかし、あなたはエホバに対して非常に不敬なことをしたので、生まれたばかりのあなたの子は必ず死にます」) こうした例から、エホバが確かに快く許してくださる方

だということが分かります。そして、これから考える通り、**許す面**で**エホバと人間**には**大きな違い**があります。

エホバの許しは際立っている

8. エホバが裁きを行うのに最もふさわしい方だと言えるのはなぜですか。

8 エホバは「**地上の人全てを裁く方**」です。（[創 18:25](#) 邪悪な人と一緒に正しい人も滅ぼして、正しい人と邪悪な人を同じ目に遭わせるようなことを、あなたがなさるはずはありません。あなたに限ってあり得ないことです。地上の人全てを裁く方は、正しいことを行われるのではありませんか）**良い裁判官**であるには、**法律をよく理解**する必要があります。エホバはまさにそのような方です。なぜなら、**エホバは裁く方**であると**同時に**、**法を定める方**でもあるからです。（[イザ 33:22](#) エホバは私たちが**裁く方**、エホバは私たちのために**法を定める方**、エホバは私たちの**王**。私たちが**救ってくださる方**である）エホバは**誰よりも優れた正邪の感覚**を持っています。良い裁判官であるために必要なことはほかにもあります。**判決を下す前に**、その件に関係した**事実全てを知**っていなければなりません。この点でも、エホバは裁きを行うのに**最もふさわしい方**だと言えます。

9. エホバはどんなことを踏まえて許しを与えますか。

9 エホバは**人間の裁判官とは違い**、ご自分が扱う物事に関する**全ての事実を完全に理解**しています。（[創 18:20, 21](#) そこでエホバは言った。「ソドムとゴモラの罪は極めて重く、彼らについての苦情の叫びはあまりにも大きいです。21 私は下って行って確かめます。私に届いた叫び通りのことが起きているかどうかを知りたいのです」。[詩 90:8](#) あなたは私たちの過ちに気付いています。あなたの顔の光によって私たちの秘密は暴かれます）エホバが知っているのは、人間が見たり聞いたりできることだけではありません。誰かの**行動の背後にある遺伝や生い立ちや環境**といった要素に加えて、その時の**精神状態**もよくご存じです。また、エホバは**心を読むこと**もできます。一人一人の**動機や目的を知**っているのです。**エホバの目から隠せるものは一つも**ありません。（[へブ 4:13](#) そして、**神の目を逃れられる創造物は一つもなく、全てのものは神から見て裸で**、さらけ出されており、私たちはこの方に**責任を問われること**になります）ですから、エホバは**いつでも全てのことを完全に理解した上で許しを**与えます。



エホバは**正しく公平な方**で、**えこひいきをしない**。**買収されることもない**。（10節を参照。）

II. エホバの許しについて **申命記 32:4** からどんなことを学びましたか

10. エホバの裁きがいいつも正しく公平なものだと言えるのはなぜですか。 (申命記 32:4)

10 エホバの裁きはいいつも正しく公平なものです。エホバは決してえこひいきをする方ではありません。外見や財産や立場や能力などによって許すかどうかを決めることはしません。(サムエル 16:7) しかしエホバはサムエルにこう言った。「彼の容姿や背の高さに注目してはいけない。私は彼を選んでいない。人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る」。ヤコ 2:1-4 私の兄弟たち、皆さんは栄光に輝く主イエス・キリストに信仰を持っているはずなのに、えこひいきをしているのですか。2 例えば、上等な服を着て金の指輪を幾つもはめた人と、汚れた服を着た貧しい人が、皆さんの集まりに来たとします。3 皆さんは、上等な服を着ている人には親切にして、「この良い席にお座りください」と言い、貧しい人には、「立っていてください」とか「私の足元(*足台のそば)に座ってください」と言いますか。4 もしそうなら、差別をしていることになりませんか。ひどい判決を下す裁判官のようになっていないでしょうか) 圧力に負けたり買収されたりすることもありません。(代二 19:7 皆さんがエホバを畏れますように。慎重に事を行いなさい。私たちの神エホバには不正や不公平がなく、賄賂を受け取ることもないからです) 怒りに任せて、あるいは感情に流されて決定するということもありません。(出 34:7 揺るぎない愛を幾千代までも示し、過ちと違反と罪を許す。しかし、罪がある人を処罰しないことは決してなく、父の過ちに対する処罰を子や孫やひ孫に及ぼす) エホバは理解力と素晴らしい洞察力を持っているので、裁きを行うのに最もふさわしい方だと言えます。(申命記 32:4 神は岩のような方で、行うことは完全、神の道は全て公正である。決して不公正ではなく、信頼できる神。正しく、真つすぐな方を読む。)

11. エホバの許しが際立っていると言えるのはなぜですか。

11 ヘブライ語聖書を書いた人たちは、エホバの許しが際立ったものであることをよく知っていました。彼らが時折用いたあるヘブライ語の単語について、参考文献はこう述べています。「この語は神が罪人を許す場合にのみ用いられており、人が人に対して示す程度の許しを指して用いられている箇所はない」。エホバだけが罪を悔い改めた人を完全に許すことができます。では、エホバに許していただいた人はどんな経験をしますか。

12-13. (ア) エホバに許していただいた人は、どんな経験をしますか。(イ) エホバはいったん許した罪に関してどんなことはしませんか。

12 (ア) 私たちは、エホバが許してくださったということを受け入れる時、「爽やかにする時期」を経験することができ、穏やかな心ややましいところのない良心を持つことができます。こうした許しを与えることができるのはエホバだけです。人間が与えることはできません。(使徒 3:19) ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変え(d*方向転換)なさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバ(d*エホバの顔)から来て) エホバに許していただくなら、エホバとの良い関係を取り戻すことができ、犯した罪はなかったかのようにになります。

13 (イ) エホバは、いったん許したなら、その罪を再び持ち出して罰したりはしません。(イザ 43:25) 私、この私が、私自身のためにあなたの違反(*反逆的な行い)を消し去っており、あなたの罪を思い出さない。エレ 31:34 エホバはこう宣言する。「彼らがそれぞれ、隣人や兄弟を教えて、『エホバを知りなさい!』と言うことはもうなくなる。最も小さな者から最も大きな者まで、皆が私を知るようになるからだ。私は彼らの過ちを許し

、彼らの罪をもはや思い出さない」) 「日の出[が]日の入りから遠く離れている」ように、私たちの罪を私たちから遠くに離してください。*「エホバに近づきなさい」という本の第26章の9節を参照。

(詩103:12 日の出は日の入りから遠く離れている。同じように、神は私たちの違反を私たちから遠くに離してください) エホバがこのように惜しみなく許してくださることを考えると、感謝と畏敬の気持ちでいっぱいになるのではないのでしょうか。(詩130:4 あなたは本当に許す方。それで人はあなたに畏敬の気持ちを抱く) では、エホバに許していただけるのはどんな人でしょうか。

エホバに許していただけるのはどんな人か

14. エホバは許すかどうかを何に基づいて決めますか。

14 ここまで考えてきた通り、エホバは罪の大きさによって許すかどうかを決めるわけではありません。そして、人間を造った方、法を定める方、裁く方としての知識を用いて、許すかどうかを判断します。では、エホバはどんな要素を考慮に入れるのでしょうか。

15. ルカ12章47、48節からすると、エホバはどんな要素を考慮に入れますか。

15 エホバが考慮に入れる1つの要素は、罪を犯した人が自分の行いが悪いと分かっていたのかどうかということです。ルカ12章47、48節 その時、主人の意向を理解していながら用意せず、求められたことを(*意向に沿って)行わなかったその奴隷は、何度も打ちたたかれます。48 しかし、理解せずに打たれるようなことをした人は、少なく打たれます。実際、多く与えられた人には多くのことが要求され、多くを委ねられた人には普通以上のことが要求されます。イエスはこの点をはっきりと述べています。(読む。) ある行動がエホバに憎まれると分かっているながら、あえてそれを行うなら、それは重大な罪になります。そうした場合、エホバから許していただけない可能性があります。(マル3:29 ただし、聖なる力を冒瀆する人は永久に許されず、永遠の罪を負う。ヨハ9:41 イエスは言った。「目が見えなかったなら、あなた方には罪がないでしょう。しかしあなた方は今、『見える』と言っています。あなた方の罪は見過ごされません」) では、悪いと分かっていることを行ってしまった場合、許していただける可能性はあるのでしょうか。あります。この点は、エホバが考慮に入れるもう1つの要素と関係しています。



心から悔い改めるなら、エホバは許してくださる。(16-17節を参照。)

16. 悔い改めるとはどういうことですか。エホバに許していただく上で悔い改めがどうしても必要なのはなぜですか。

16 エホバが考慮に入れるもう 1 つの要素は、**罪を犯した人が心から悔い改めているかどうか**ということです。**悔い改めるとは**どういうことでしょうか。それは、**考えや態度や目的を改める**ということです。悔い改めている人は**悪いことを行ってしまった**ことや、**行うべきことを行わなかった**ことを**後悔**し、**深く悲しみ**ます。また、**エホバとの関係が弱くなっていたためにそう**なってしまったこと**も深く悲しみ**ます。**マナセ王**や**ダビデ王**は**重大な罪**を犯しましたが、**心から悔い改めた**ので、エホバから許されました。（[王 14:8](#) **そしてダビデ家から王国を引き裂いて取り上げ、あなたに与えたが、あなたは私に仕えたダビデのようにはならなかった。彼は私のおきてを守り、私から見て正しいことだけを行って、心を尽くして私に従った**）エホバに許していただくためには、**心から悔い改めていることをエホバに示す必要**があるのです。とはいえ、**罪を犯してしまったことを後悔するだけでは**十分ではありません。**行動を起こす必要**があります。***語句の説明:「悔い改め」**とは、以前の生き方や間違った行動、または行うべきことをしなかったことを心から悔いて、考えを改めることを意味します。真の悔い改めには、生き方や行動の変化が伴います。この点は、エホバが考慮に入れる**もう 1 つの要素と関係**しています。

III. エホバの許しについて [イザヤ 55:7](#) からどんなことを学びましたか

17. 生き方を変えるとはどういうことですか。そうすることが**過去の罪を繰り返さないために重要**だと言えるのは**なぜ**ですか。（[イザヤ 55:7](#)）

17 エホバが考慮に入れるもう 1 つの大切な要素は、**生き方を変えているかどうか**ということです。ですから、**良くない生き方をやめてエホバに喜ばれる生き方をする必要**があります。（[イザヤ 55:7](#) **悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に(*惜しみなく)許してくださるを読む。**）つまり、**考え方を変え、エホバの考え方に沿った生き方**をする必要があるということです。（[ロマ 12:2](#) **そして、今の体制(*時代)によって形作られるのをやめてください。かえって、考え方を新しくすることによって自分を変化させましょう。それは、神の善い意志、喜ばしい完全な意志を見極めるためです。**[エフエ 4:23](#) **考え方(*精神的傾向)を新しくする努力を続けましょう**）これまでの**良くない考え方や行動に****戻らない**、と**決意**しなければなりません。（[コロ 3:7-10](#) **皆さんも以前は、そうした事柄が伴う生き方をしていました。8 しかし今は、それらを全て捨て去らなければなりません。憤り、怒り、悪い行い、暴言、口から出る下品な(*みだらな)言葉を捨て去りなさい。9 互いにうそをついてはなりません。古い人格(d*人)とそれに伴う習慣を脱ぎ捨て、10 新しい人格を身に着けましょう。新しい人格は、それを与えてくださる(*創造した)神の性質に沿って、正確な知識によって新しくされていきます**）もちろん、**エホバから許して**いただき、**罪から自由**になるには、**キリストの犠牲に信仰を抱く必要**があります。**私たちが生き方を変えるために真剣に努力**する時、エホバは**この犠牲に基づいて私たちを許**してくださるのです。（[ヨハ 1:7](#) **一方、神が光の中にいるのと同じように私たちが光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに結び付いており、神の子イエスの血によって全ての罪から清められます**）

エホバが許してくださることを心から信じる

18. エホバの許しについてどんなことを学びましたか。

18 この記事で学んだ**大切な点を振り返**てみましょう。**エホバの許し**は**宇宙で最も際立**っています。

す。そういえるどんな理由があるのでしょうか。1つ目に、エホバは快く許してくださいます。2つ目に、エホバは私たちの造りを含め、私たちのこと全てをよくご存じです。それで、心から悔い改めているかどうかを見極めるのに最もふさわしい方だと言えます。3つ目に、エホバは罪を許してくださる時、全てを水に流し、その罪をなかったことにしてくださいます。それで私たちはやましいところのない良心を持ち、エホバから良いと認めていただくことができます。

19. 不完全で罪を犯すことを避けられないとしても、喜びを保てるのはなぜですか。

19 私たちは不完全である限り、罪を犯すことを避けられません。それでも、「聖書に対する洞察」第1巻 775 ページには、次のような慰めとなる言葉が載せられています。「エホバはご自分の僕たちの肉的な弱さを憐れみをもって考慮してくださるので、彼らは生まれながらの不完全さによるとがのために絶えず良心の呵責に苦しむ必要はありません。（詩 103:8-14 エホバは憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある。すぐに怒らず、揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ちている。9 いつも非難するのでも、ずっと憤ったままでいるのでもない。10 私たちの罪に応じて私たちを扱うことはしなかった。過ちの当然の報いを私たちにもたらさなかった。11 天の高さは地とは比べものにならない。神がご自分を畏れる人たちに示す揺るぎない愛の大きさも計り知れない。12 日の出は日の入りから遠く離れている。同じように、神は私たちの違反を私たちから遠くに離してくださった。13 父が子を憐れむように、エホバはご自分を畏れる人たちを憐れんだ。14 神は私たちの造りをよく知っている。私たちが土でできているにすぎないことを覚えている。: 130:3 ヤハ(エホバの短縮形)よ、もしあなたが過ちに注目(*を記録)するなら、エホバよ、誰が立っていられるでしょうか) もし良心的に神の道を歩んでいるなら、喜びを保っていられるのです。—フィリ 4:4-6 主のゆえにいつも喜びましょう。もう一度言います。喜びましょう！5 分別があることが全ての人に知られるようにしてください。主はすぐ近くにいます。6 何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願い(*請願)を神に知っていただくようにしましょう。ヨハ 3:19-22 そのようにして、私たちは自分が真理から出ていることを確信し、神の前で安心(*心を納得させることが)できます。20 心に責められることがあっても安心できるのです。神は私たちの心より大きく(私たち以上に私たちのことを知っているということ)、全てのことを知っているからです。21 愛する皆さん、心に責められることがなければ、私たちは気後れせずに神に語り掛けることができます。22 そして、願い求めることは何でも神に聞き届けられます。私たちが神のおきてを守り、神に喜ばれることを行っているからです」。本当に力づけられるのではないのでしょうか。

20. 次の記事ではどんなことを考えますか。

20 私たちが犯した罪を心から悔い改める時、エホバが許してくださるというのは、本当にありがたいことです。では、①私たちは許す面でエホバに倣うためにどんなことができるのでしょうか。②私たちの許しとエホバの許しはどんな点が似ていて、どんな点が違っているのでしょうか。③この違いを理解しておくことが大切なのはなぜでしょうか。次の記事ではこうした点を考えます。

エホバの許しについて以下の聖句からどんなことを学びましたか

- I. エホバの許しについて 詩編 103:13, 14 からどんなことを学びましたか
- II. エホバの許しについて 申命記 32:4 からどんなことを学びましたか
- III. エホバの許しについて イザヤ 55:7 からどんなことを学びましたか